

第30回 岡山県議会議員のみなさまとの懇談会を開催しました。

11月15日(木)15時30分～17時30分まで、オメガホールにて、岡山県議会議員と県生協連との懇談会を開催しました。県議会全会派から8名の議員に参加頂き、今年7月の西日本豪雨災害をふまえ、「岡山県での災害対応と地域社会づくり」をテーマに懇談を行いました。岡山県生協連からは、11人が参加しました。



【ご出席頂いた県議会議員のみなさま】 8人

- | | | | |
|-----------|-----------------|----------|---------|
| ○自由民主党 | 渡辺 吉幸 議員(総務委員長) | | |
| ○民主・県民クラブ | 高原 俊彦 議員(団長) | 高橋 徹 議員 | 大塚 愛 議員 |
| ○公明党 | 増川 英一 議員 | 荒島 俊造 議員 | |
| ○日本共産党 | 森脇 久紀 議員(団長) | 氏平 三穂子議員 | |



渡辺 吉幸 議員



高原 俊彦 議員



高橋 徹 議員



大塚 愛 議員



増川 英一 議員



荒島 俊造 議員



森脇 久紀 議員



氏平 三穂子議員

近藤会長の開会の挨拶の後、各議員から、自己紹介を兼ねた挨拶をいただきました。続いてパワーポイントを使って、県生協連の紹介と取り組み、購買生協と医療生協の特徴的な取り組みの報告の後、おかやまコープと倉敷医療生協から、今回の西日本豪雨災害でのそれぞれの生協の対応や課題などについて報告を行いました。

その後の意見交換では、災害対応について、議員の方から、避難所での野菜の多いお弁当の提供は避難所での食の改善につながる生協の役割発揮であり期待していることや野菜不足を補う仕組みの検討をしていること、生協の氷の提供がたいへん喜ばれたことと行政の消毒用の石灰の使い方が説明不足だったこと、直後の支援物資輸送に関しては、災害時物資協定で具体的な拠点やルートの明示の有無や日本生協連など広域なネットワーク対応の必要性と現状について、生協での災害対応の訓練の実施や対応マニュアルの有無や発災後72時間以内にどんな動きや取り組みができるかが大切なこと、などの質問や意見が述べられ、それぞれに対して、生協側からも質問への回答や課題と感じたことなどを発言する中で、今回の災害対応からの教訓や今後活かすことなどを共有しました。また、その他のテーマについて、議員の方から、三井生協の移動販売車の状況とコープの移動販売車への期待、生活困窮者支援事業を進める上での課題となっていること、人口減少社会の中での人材確保の工夫と状況、レジ袋の有料化の展望などについて質問や意見があり、県や県議会への要望も含めた回答を行うなど、県議会議員のみなさんへ協力を求め、懇談を終了しました。

お忙しい中、懇談会にご出席頂きました県議会議員の皆様にお礼申し上げます。

岡山県議会議員のみなさまとの懇談会

岡山県生活協同組合連合会

